

会議顛末報告書

- 会議名 富良野市住居表示審議会（平成 27 年度第 1 回）
○日 時 平成 27 年 11 月 10 日（火） 16 時 00 分 ～ 17 時 10 分
○場 所 富良野市役所 議会委員会室
○出席者 委員：中島 浩、布施孝夫（代理 住吉副署長）、宮谷健司、原田 武、跡部昇一、
和田秀紀、野原武、川喜田久明、外崎番三、鎌田忠男
市：石井副市長、若杉総務部長、関根市民環境課長、長沢市民環境課主幹、
須藤市民年金係長
-

○審議

開会 16:00

1. 審議委員会開会

（事務局 若杉部長）

今回、平成 27 年 10 月 2 日から新たな任期で審議委員になられた方々に辞令交付を行う。
自席に回るので、起立のうえ受取り願う。

2. 辞令交付

自席に回りますので、起立のうえ受け取り願う。
中島委員から順番に交付。

3. 市長挨拶

（石井副市長）市長上京のため代理挨拶

住居表示審議会は、町の区域、名称、住居表示について審議するところ。住居表示することにより、
わかりやすい表示をするものである。

平成 16 年に北斗町、平成 21 年に東雲町、平成 23 年には山部の町名を決定してきた。山部において
は、名称がまちまちだったため、早く住居表示してほしいとの要望がある一方、慣れ親しんだ名称の
方が使いやすいという意見もあり、考えが一致しなかった。しかし、統一することが望ましいと平成
23 年によりやく実現したところである。

学田三区については、住居表示することが望ましいという考えの他、名義変更等にお金がかかるな
ど意見が一致していない。

行政としては地域の合意形成がありそれを基に対応していくこととなる。みなさまには慎重な審議
をしていただきたい。

4. 会長・副会長互選について

事務局案により、会長に原田北の峰町連合会長、副会長に跡部西町連合会長

(事務局 若杉部長)

この後の審議については原田会長に議長を務めていただく。

(原田会長)

住居表示は一度設定すると簡単には変更できるものではないため、十分な審議が必要である。

学田三区については、アンケート調査を行ったが、企業の同意が得られず、地域の合意形成には至らなかった。

委員の皆様には、2年間ご協力をお願いしたい。

5. 連絡・報告事項

(原田議長)

連絡・報告事項について事務局より説明願う。

(事務局 長沢主幹)

1) 富良野市住居表示審議会、2) 富良野市住居表示実施基準及び住居表示実施までの流れ、3) 住居表示等実施経過、4) 学田三区における住居表示審議経過について資料1から5に基づき一括説明する。

(宮谷委員)

郵便局は機械で仕分けしている。住居表示されれば精度が上がりより正確になる。ただ、山部においては、いまだに旧住所で書かれているものが多い。

(跡部委員)

西町の住所は1番と2番のみだが、町内会は3つある。第3町内会の住所は1番なので、勘違いしている人がいる。

(原田議長)

町内会の編製と住居表示は一致しない。北の峰町も一致していない。

(川喜田委員)

学田三区は住んでいる人にとっては、不便はないだろうが、外部の人が不便を感じている。住所は明確にあった方がよい。

(和田委員)

住民の60%以上が不要だというなら不要なのではないか。

(川喜田委員)

住んでいる人が不要だと言っても、外部が不便を感じているのだから、住居表示すべきではないのか。

(原田議長)

地域からの要望が無ければ、住居表示はできない。

(事務局 長沢主幹)

住んでいる人たちの合意形成が必要となる。

6. その他

(事務局 長沢主幹)

- ・次回開催は来年度となる。

閉会 17:10